

藤沢記者クラブ各位

手足口病の流行警報を発令します

本市では、感染症発生動向調査による2026年第27週（6月29日～7月5日）における手足口病患者の報告数が、定点※¹あたり8.33人（定点数9か所、報告数75人）となり、流行警報基準値※²の「定点あたり5.00人」を超えたため、流行警報を発令します。

本市での流行警報は、2024年第27週（7月1日～7月7日）における発令以来、2年ぶりです。

手足口病は乳幼児を中心に流行しやすく、家庭や保育所・幼稚園等で広がることがあります。ウイルスはアルコール消毒が効きにくいので、石けんと流水によるこまめな手洗いが重要です。基本的な感染予防対策や体調がすぐれない時には保育所・幼稚園等を休むなど、感染拡大の予防にご協力ください。

▼直近5週における手足口病の定点あたり報告数の推移

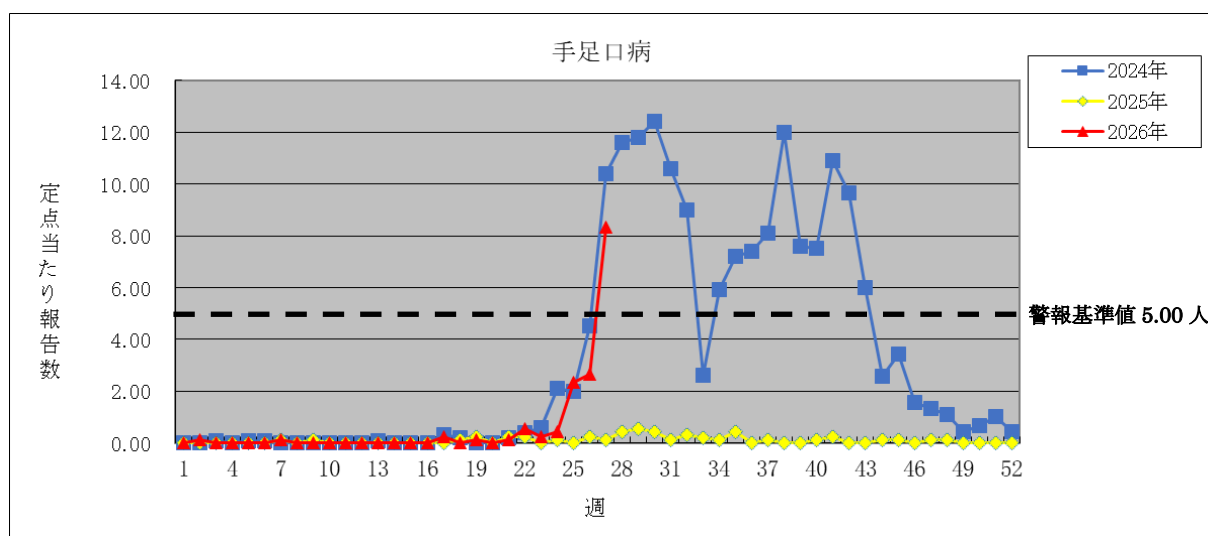
週	集 計 期 間	全国	神奈川県	藤沢市
23週	6月 1日～6月 7日	1.98	0.97	0.22
24週	6月 8日～6月14日	2.75	1.61	0.44
25週	6月15日～6月21日	3.40	2.59	2.33
26週	6月22日～6月28日	4.61	4.59	2.67
27週	6月29日～7月 5日	-	-	8.33 (流行警報発令)

※1 感染症発生動向調査のため、あらかじめ指定し、定期的に患者発生状況を報告していただいている市内医療機関（手足口病の場合は、小児科定点9か所）です。「定点あたり」の数値とは、1週間分の患者数の平均値です。

※2 定点あたり「5.00人」に達すると警報を発令します。なお、警報解除基準は定点あたり「2.00人」を下回った場合です。

《次項あり》

▼藤沢市内の手足口病の発生状況グラフ



＜手足口病とは？＞

手足や口の中などに水疱性（水ぶくれ）発疹ができるウイルス性の感染症です。乳幼児を中心に夏に流行する傾向にありますが、成人でも感染する場合があります。

1 主な症状・治療方法

感染から3～5日後に、口の中や手のひら、足の裏などに2～3mmの水ぶくれができます。特別な治療はなく対症療法が基本ですが、ほとんどの場合、数日間のうちに治ります。まれに髄膜炎、脳炎などの合併症を起こし、重症化することから、嘔吐、高熱が続くなど症状が強い場合には、適切に医療機関を受診することが大切です。

2 感染経路

飛沫感染、接触感染、経口感染など

3 予防方法

石けんと流水による手洗いが重要です。また、おむつを交換する際は、排泄物の適切な処理と交換後の手洗いを必ず行い、タオルの共用を避けてください。ドアノブやおもちゃなどの消毒には水で薄めた塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）が有効です。なお、霧吹きボトル等による噴霧は、吸い込みの危険がありますのでおやめください。

【この資料に関する問い合わせ先】

藤沢市役所 健康医療部 保健予防課

担当：片山・定松・林

内線：7171

直通：0466(50)3593